

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.7)

上空からの施設外観



2006年7月30日現在の施設外観（左：西棟、右：東棟）

試運転の状況について

試運転を通じて 処理性能、環境保全性能、作業環境性能の性能確認項目を確認するとともに、作業従事者の習熟度を高めるため、教育や訓練を行っています。

4月までは、模擬試験物(PCBを含まないコンデンサ・トランス)による全体機能確認試験を実施し、5月からは、PCB試験物によって段階的に負荷を上げながら全体機能確認試験を行いました。7月からは引渡性能試験を実施し、上記性能確認項目を満足していることを確認しました。

現在は、作業従事者の習熟度を高めるため、習熟運転や教育・訓練を行っています。



真空加熱分離装置でのコンデンサ処理(引渡性能試験)
(左：処理前、右：処理後)



払出設備のトランスのコア処理(引渡性能試験)
(真空加熱分離装置で処理済のコア切断)

廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)に基づく処分業の許可申請について

7月14日、大阪市に廃掃法に基づく特別管理産業廃棄物処分業の許可申請を行ないました。これは引渡性能試験の結果等を含む法律上必要な申請書類を提出したもので、現在審査が行なわれています。なお、環境事業局による使用前検査として、3月から8月にかけて総合調整試験から引渡性能試験まで試験の段階毎に施設の立入検査が実施されました。今後、処分業の許可をいただいた後に操業運転に入ります。

情報公開設備について

本施設では、P C B 廃棄物の処理が、安全かつ確実に実施されている状況を広く市民の方々にご理解いただくとともに、環境教育や環境情報発信に役立つ情報公開設備を設置しています。

西棟1階の「情報公開ルーム」は、実物モデル等の展示や施設紹介コーナーで運転状況をご覧いただけるとともに、施設内を歩いて見学しているような擬似体験をすることができる映像を用意しています。

また、環境学習コーナーでは、環境クイズ等をお楽しみいただけます。

これらの展示は、「べん蔵」をはじめとしたキャラクターにより子供から大人までわかりやすく紹介しています。

その他、2階の「プレゼンテーションルーム」や、窓越しに施設内部をご覧いただける2階及び4階の「見学者ホール」を計画しております。

公開開始のご案内については、今後発行する事業だよりや当社のホームページでお知らせいたします。



左からトランス、コンデンサ、処理済コンデンサ

実物モデル等の展示



西棟1Fの情報公開ルーム



べん蔵

ビオトープの設置について

西棟の南側にビオトープを設置しました。泉から湧き出た水(この水は施設内に降った雨水を利用して)は小川を流れ、池へ流れ込みます。池にはハナショウブなどが植えられ、メダカの親子が泳いでいます。水辺に誘われトンボや蝶々がやってくることもしばしばです。



施工者からの一言

杭工事開始以来1年7ヶ月間、のべ23万人近くの関係者がこの施設の建設・試運転に携わってきました。施設の引渡しまで残りわずかとなりましたが、これまでの積み重ねを大切に、気を緩めず安全作業と安全運転を継続します。これまでの試運転を通じてPCB廃棄物を安全に確実に処理してきた実績を操業運転につなげるよう、運転従事者の教育に今後とも力を注いで参ります。



発注者 日本環境安全事業株式会社

(連絡先) 大阪事業所(舞洲) 06-6468-0575

【営業】(弁天町) 06-6575-5575

施工者 三井造船-大阪事業異工種建設工事共同企業体

(連絡先) 三井造船(株)大阪PCB工事事務所

06-6462-5140